

# 第13回 次世代技術経営者育成セミナー



## 参加者募集

「賢材塾」は、技術のわかる経営者、経営のわかる技術者を育成する少数精鋭・短期集中合宿型のセミナーです。企業分析、モノづくり経営等、技術経営者に必要とされる知識・スキルを習得できます。

## 「賢材塾」とは

### 少数精鋭

講義だけでなくグループワークでより効率的・実践的に

### 合宿型

講師、参加者と寝食を共有し、講師陣の人格にまで触れる機会

### 交流

業種の異なる仲間たちと交流し、新たな人脈を形成



### 交通アクセス

- 公共交通機関の場合  
JR多治見駅から東鉄バスにて15～30分  
「研究学園都市センター」下車徒歩1分
- タクシー  
JR多治見駅から約15分、土岐市駅から約20分
- 自動車利用の場合  
東海環状自動車道の土岐南多治見I.C.を下りて  
「下石・妻木・小原・国道363号方面」に約5分

## お申し込み・お問い合わせ

- ◆お申し込み方法 / 同封の申し込み用紙を郵送、またはFAXにてお申し込みください。
- ◆お申し込み期間 / 平成29年6月1日(木)～平成29年7月31日(月)
- ◆募集定員 / 20名(申込先着順、定員になり次第締め切ります)
- ◆受講費用 / 6万円(宿泊代・懇親会費・交流会費を含み、食費は含みません)
- ◆お支払い方法 / 銀行振込(受講者に別途連絡いたします)

賢材塾事務局(一般社団法人 岐阜県工業会)  
〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1丁目1番地  
TEL 058-385-4315 FAX 058-385-4316  
E-MAIL: info@industry-gifu.or.jp URL: http://www.industry-gifu.or.jp

少数精鋭  
合宿型  
交流

将来の  
幹部候補生や  
リーダーの方など  
**大歓迎!!**

課長、チームリーダー、係長などが多く参加されています。

### 開催日程

\* 2泊3日の宿泊型研修となります。

平成29年

9/14(木) ▶ 9/16(土)

### 開催場所

自然科学研究機構  
核融合科学研究所

岐阜県土岐市下石町322-6  
TEL : 0572-58-2043

### 宿泊場所

自然科学研究機構  
核融合科学研究所

宿泊施設  
「ヘリコンクラブ」

### 主催

岐阜県  
一般社団法人岐阜県工業会

### 協力

自然科学研究機構  
核融合科学研究所

過去にご参加いただいた方についても参加可能です。

9月  
14日  
木

1日目

(9:45~10:00)  
開講式

関係者挨拶  
事前説明



大同大学 名誉学長  
澤岡 昭氏

**宇宙開発に学ぶ技術経営者の条件**  
経営者にとって必須の資質は強いリーダーシップと同時に必要に応じてチーム構成員に従うバランスのとれたフォローシップです。国際宇宙ステーションの船長に求められる資質も同様です。船長を務めた若田光一飛行士はこの点でも国際的に高い評価を受けています。"はやぶさ"プロジェクト責任者の川口淳一郎さんは技術経営者としてお手本にしたい方です。宇宙開発を例に技術経営者に求められる資質について考察します。

(10:00~12:00)  
リーダーシップとフォローシップ



株式会社  
ヒューマンエナジー  
刈本 香緒莉氏

**上手な褒め方・叱り方**

職場において部下・後輩との関わり方は、マネジメント層にとって大きな課題です。上司・先輩がどのようなコミュニケーションを取るのかにより、部下・後輩の成長やチームの成果にも大きな影響があります。研修では、部下・後輩とどのように携わっていけばよいか、褒め方叱り方も含め、効果的なコミュニケーションの取り方を考えていきます。

(13:00~16:00)  
部下との関わり方・育て方

(16:00~17:00)  
施設見学

未来型の新しいエネルギー源、「地上の太陽」の実現を目指し、日夜研究を続ける世界最先端の施設、「核融合科学研究所」を見学します。

(18:00~)  
懇親会

夕食を兼ねた交流会。塾生同士の親睦を深め。人脈形成の一環に。

9月  
15日  
金

2日目

(9:00~12:00)  
世界経済の概況



愛知淑徳大学  
ビジネス学部・研究科  
教授  
真田 幸光氏

**混沌情勢下の企業経営**

リスク対比リターンを意識した企業経営の基本について、直近の国際情勢を背景にし、具体的な現状認識と今後の対策に向けた考察を試みます。

(13:00~15:00)  
マーケティング・商品開発

**新規ビジネス開発のマーケティング戦略**

マーケティングは「売る技術」と考えられていますが、正しくはお客様と出会い、ご満足いただき、未来永劫お付き合い続けることができる仕組みを作ることです。その仕組みづくりの基本を、持参いただいた新規ビジネスのアイデアを評価しながら学んでいただきます。  
●見込み産業と受注産業ではマーケティングはこんなに違う  
●自社の新規ビジネスのアイデアを評価する32のマーケティング視点



株式会社V字経営研究所  
代表  
酒井 英之氏

**モノづくり経営戦略・プレゼン**

午前中に検討したアイデアを、より実現性の高い規格案へと仕上げるためにグループワークによって高度化します。その成果をグループ別に発表します。これにより、企画力を高めるファシリテーション力を高めます。

(9:00~12:00)  
企業分析

**自社の決算書の読み方**

- 現在の経営環境の認識
  - 現在の経営環境を正しく認識する
  - 環境を見据えた戦略が必要
- 決算書の本質は何か
  - 会社経営における決算書の果たす役割
  - 会社の目的と会社経営
- 会社経営に活かす決算書の見方
  - 経営の視点から見る貸借対照表
  - 経営の視点から見る損益計算書
  - 経営の視点から見るキャッシュフロー計算書
- 決算書を活用した自社の、問題点の見つけ方
  - 自社の総合力の分析
  - 売掛金・在庫は適正水準か?
  - 自社の財務安定性はどうか?
- 損益分岐点分析
  - 固定費・変動費とは何か?
  - 損益分岐点分析とは何か?
  - 活用方法



アタックスグループ  
大塩 佑氏

**プレゼンテーション・評価・助言**

内容ケーススタディの発表

関係者挨拶  
修了証書授与

(12:45~15:45)  
グループワーク/プレゼンテーション

(15:45~16:15)  
閉講式

9月  
16日  
土

2日目

受講者の声



第10期受講生  
株式会社 足立瓦店  
取締役社長  
足立 仁志氏

日頃は職人として現場での作業に追われ、あまり経営ということを考えてことのない私が少々の不安を抱いてのセミナーへの参加となりました。

受講してみますと、今までの自分が会社を経営するという感覚に無頓着だったことに気が付けました。

うまいプレゼンテーション、経営、財務の考え方、世界情勢の現状等、私にとって目から鱗の話がいっぱいでした。少数精鋭ということもあり、異業種の方々との交流も深めることができました。

私にとって賢材塾への参加は本当に勉強になりました。今後の業務に役立てていきたいと思っています。



第11期受講生  
株式会社ウイセラ  
中部営業所 課長  
片桐 伸昭氏

受講前は実務に直接関係がない講義もあるのではと考えておりましたが、いざ始まるとどの講義も様々な形で実務と関係しており、自分の視野の狭さに気が付けられました。商品開発などのグループワークでは実践的な取り組みも体験でき、ここで学んだことは実務の場で大変役立っています。

様々な業種から集まった受講生とは共通の課題に取り組む中で一体感が生まれ、講義を離れた場でも大変充実した時間を過ごすことができました。講師の先生方は時に厳しく、私たち塾生と真剣に向き合っており、それが今でも心に強く残っています。

これからも学んだことを様々な実務の現場で活かしていきたいと思っています。



第12期受講生  
株式会社エイエムデイ自動機  
生産グループ 加工チームリーダー  
小藤 健一氏

セミナーは、何度か参加した事がありましたが、今回は、「経営」側からの視点での参加となりました。リーダーとして日々活動していますが、本当の意味で、経営側からの話は出来ていなかったと思います。講師の方々の話は、内容がとても具体的で時間がたつのも忘れる程でした。

又、名刺を交換させていただいた講師の方からは、今も貴重な情報を頂き、セミナー時だけでは無い、後にも役に立つ繋がりが出来ました。受講中、テーマに対しグループとなり色々な考えを出していく過程で、他の参加者の方々のレベルの高い話を聞くことが出来てとても良い経験となりました。資料を会社より頂いたときは、この受講の内容は自分には難しい内容だと思いましたが、実践に基づいて、具体的にお話をいただけたので、大変解りやすく勉強になりました。また機会がありましたら是非参加させていただきたいです。

核融合科学研究所案内

1 食堂「土岐っ子」  
営業時間(平日のみ)  
朝 8:00~9:30  
昼 11:30~13:30  
夜 17:00~19:00

2 門衛所  
門衛所から見た正面玄関

3 宿泊施設「ヘリコンクラブ」

4 「賢材塾」会場(受付は2F)

5 駐車場  
(入構証が必要です。利用される場合は、受講申込書に記入してください。)

管理棟 図書館棟 制御棟 大型ヘリカル実験棟 超伝導マグネット研究棟 計測実験棟 工務棟

\*各講義の間に適宜休憩をとります。